



ジュニアエコイクマイスター検定 テキスト

特定非営利活動法人 みんなのエコイク推進協会





体育・知育・徳育…それに近年加わったのが「食育」ですが、さらに未来に進むために、地球との共存を大人も子供も考える「エコ育」を推進したいと考えたのが、私たち「特定非営利活動法人みんなのエコイク推進協会」です。

「エコイク」には、「エコを育てる」という意味に「エコを行う（エコなところに行く）」という行動を伴わせて多くの人に広めていきたいという思いが込められています。

エコなもの、こと、場所、人を見つけた時に、いつでも応援し、世界に発信できる日本発のエコを見つけていきます。

ぜひ、みんなと一緒に「エコイク」しましょう！きっと何かが変わるはずです。

特定非営利活動法人みんなのエコイク推進協会
理事長 安井レイコ

みんなのエコイク公式サイト

<http://ecoiku.org/>





ジュニアエコイクマイスターの検定（けんてい＝クイズ）です。

10問ありますので、3つの答えの中から「これがあっている」と、あなたが思うものをえらんでください。

まちがえたら、答えを読んでおぼえて、何度でもやってみてください。

さあ、全部できるまで、がんばってみよう！

《小学校3年生いじょう向け》

※ジュニアエコイクマイスターというのは、エコについて勉強するだけではなく、それを他の人にもせつめいしたり、やってみたりすることができる人のことをいいます。

この検定を自分でやってみたら、次にお友だちにも見せてあげてください。

それから、もうちょっとエコについて勉強したくなったら、ぜひ、自分でも調べてみてくださいね。





まずは、今の地球に関する問題です。

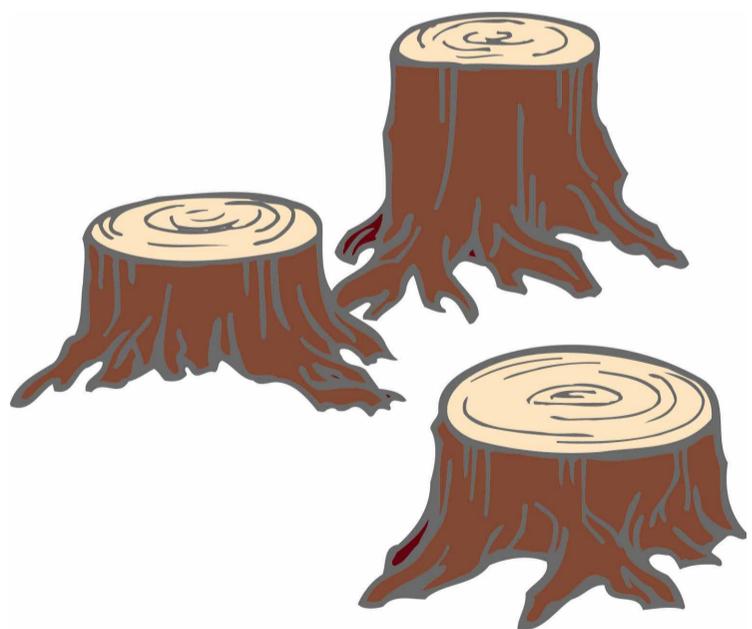
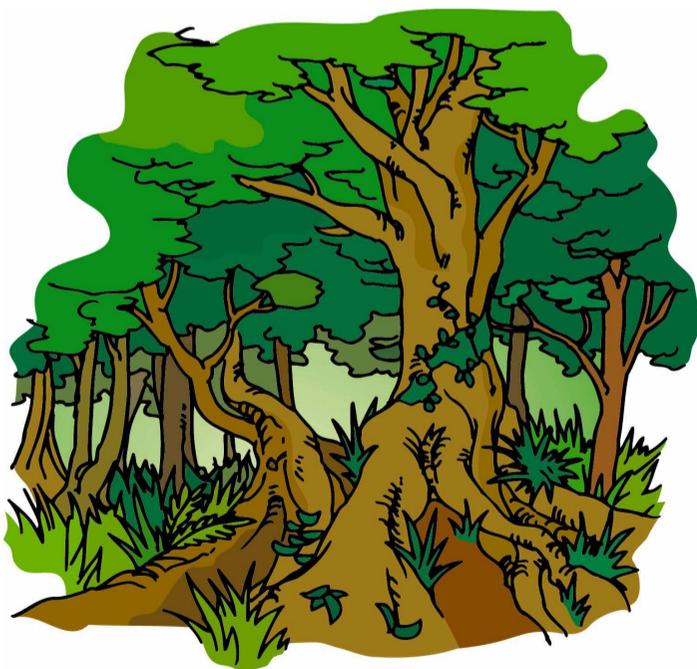
Q1 次の3つのうち、科学者が「気候（きこう）」を調べるときに使わないものはどれでしょう。

※気候（きこう）というのは、天気や気温、季節（きせつ）などを合わせたもののことです。

1. 木の年輪（ねんりん）
2. 一輪車（いちりんしゃ）
3. 氷

A 正しい答え : 2番

木が大きくなるときに、幹（みき＝根っこから続いている太い部分）の中に1年に一つずつ年輪（ねんりん＝みきにできるわつか）ができます。科学者は木の真ん中を切つて、年輪の大きさや形を見ます。その輪の大きさや形、それぞれが、木が生えていたその年に、どんな気候だったのか（暑かったのか、寒かったのかとか、雨が多かったか少なかったかなど）を教えてください。





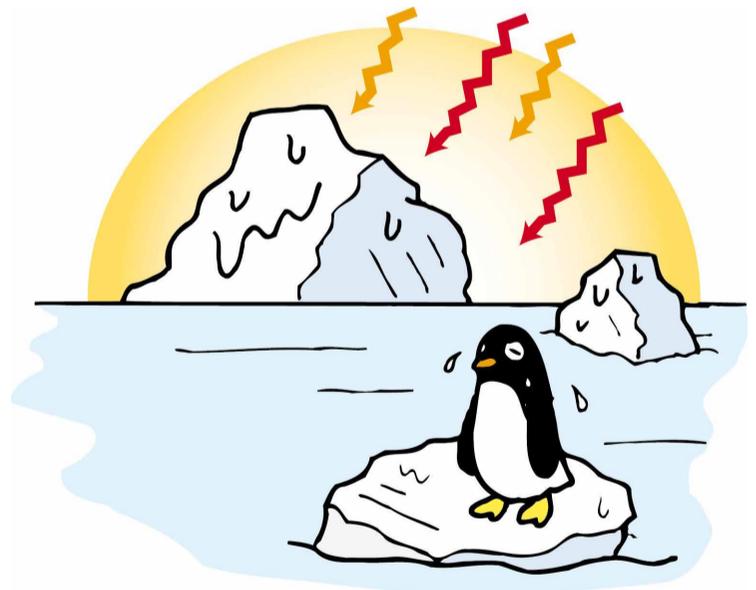
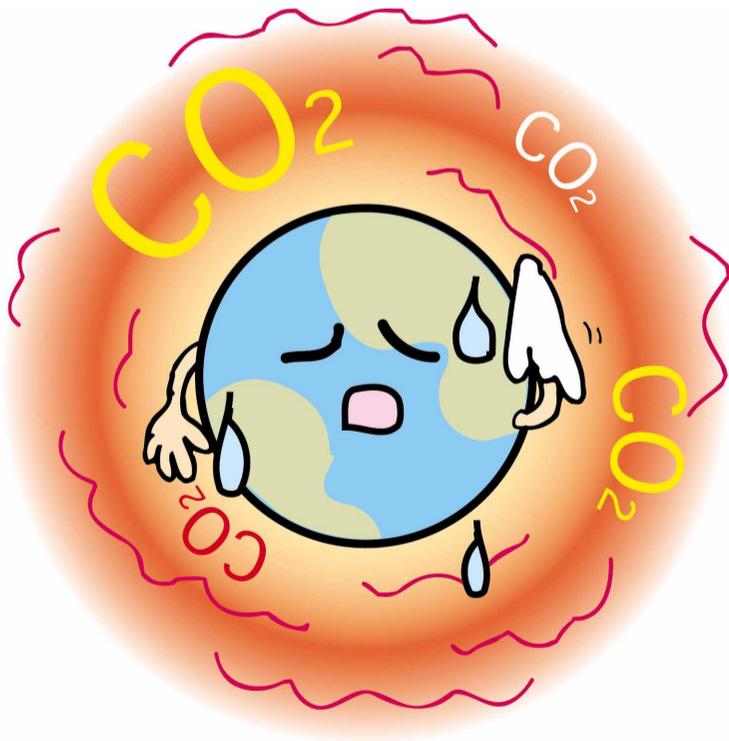
Q2 これから100年あと、科学者たちは、地球温暖化のために海面（わたしたちがいる地面から見た海の高さ）がどうなってしまう、と考えているでしょう？

※地球温暖化（きゅうおんだんか）というのは、わたしたちがはき出している空気や、車から出るガス（二酸化炭素=にさんかたんそ）などで、地球が熱（ねつ）を持つてしまうこと

1. 100cmよりもつとひくくなる
2. かわらない
3. 15~95cm も高くなる

A 正しい答え : 3番

これから100年あと、科学者たちは、地球温暖化（地球が熱を持つてしまうこと）のために海面（わたしたちがいる地面から見た海の高さ）からの水の高さが15~95cmも上がってしまう、と多くの科学者は考えています。そのために海の近くの土地は大きくかわり、そこに住んでいた動物たちもかわってしまいます。





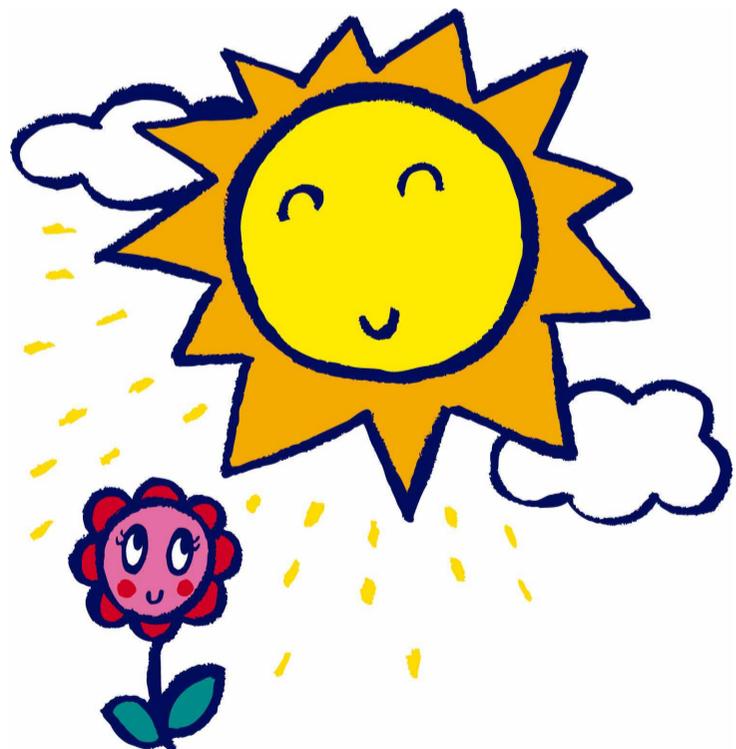
Q3 もし自然（しぜん）の温室効果（おんしつこうか）がなかったら、地球の表面は今よりどのくらい冷たいでしょう？

※自然（しぜん）の温室効果（おんしつこうか）というのは、二酸化炭素（にさんかたんそ＝わたしたちがはき出す空気や車のガスなど）がフタの役目をして、太陽からの熱（ねつ）で地上を温めてくれること

1. 今より33℃ひくくなる
2. 今より80℃ひくくなる
3. 今よりつめたくない。地球の表面は今よりあたたかい

A 正しい答え : 1番

地球の大気の中にある温室効果ガスの量は、自然のままで、人間と他の動物や植物が生きるためにちょうどいい温度にしてくれます。今、地球の平均気温（へいきんきおん＝世界中のまん中くらいの気温）は15度（15℃）です。温室効果がなくなったら、今ごろ平均気温は-18度（れいとう庫の中の温度くらい）になっていたでしょう。これは今の温度より33度もひくく、ほとんどの生き物にとって寒すぎる気温です。

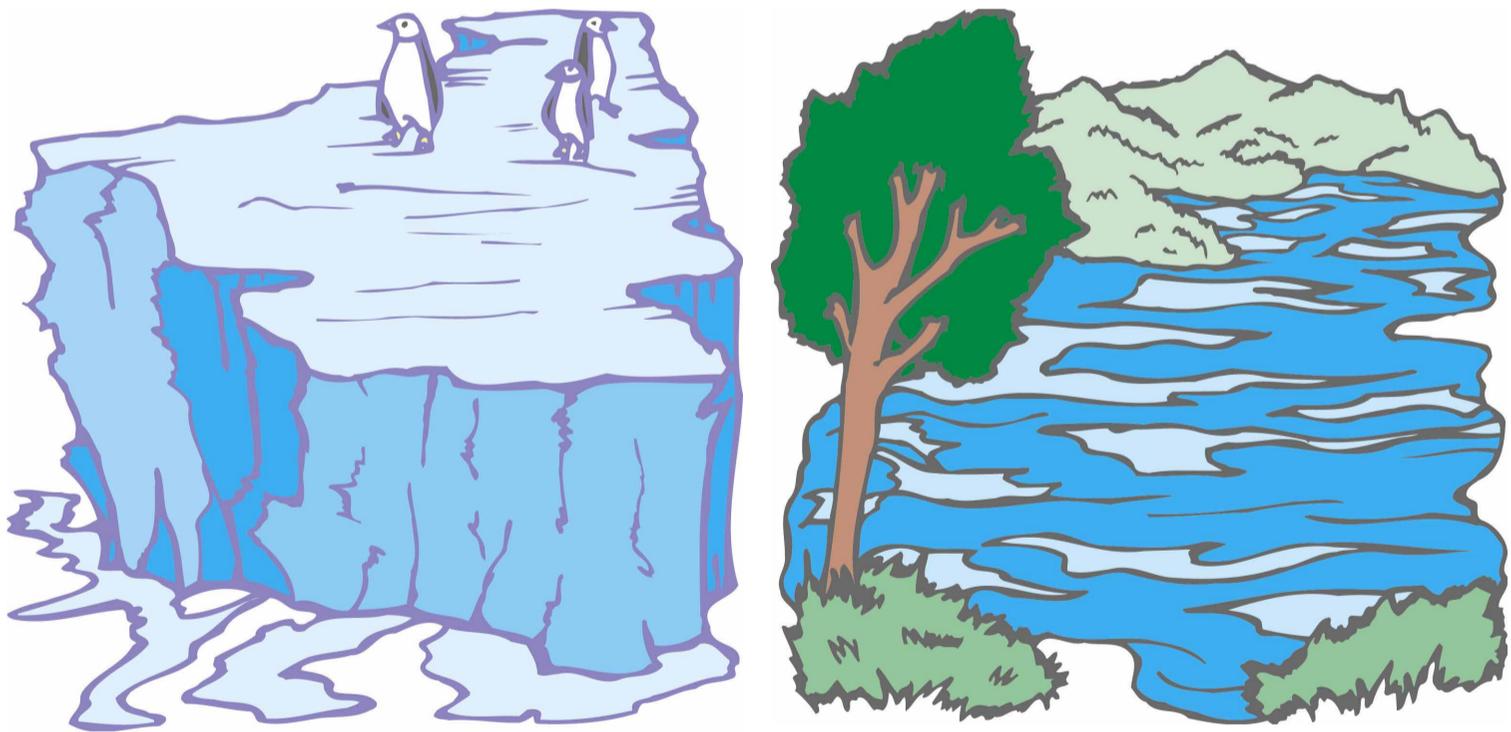




Q4 多くの科学者が、地球温暖化（ちきゅうおんだんか）の影響で海の水がふえると考えています。地球温暖化が起こると海の水が増えるのはなぜでしょう？ その理由として正しくないものは次のうちどれでしょう。

1. 水は、あたたまると量（りょう）がふえるから
2. 海と地面にある氷がとけると、海の水がふえるから。
3. 雨のしずくが大きくなり、より多くの水が海にふるから。

A 正しい答え : 3番.
今後100年の間で、地球温暖化により海の水がふえて、海が今より15~95cm高くなる、と科学者は考えています。その理由の1つは、気温が上がると海と地面の氷がとけてその水が海に流れ出すこと、そしてもう1つの理由は、水は温まると量（りょう）がふえるからです。



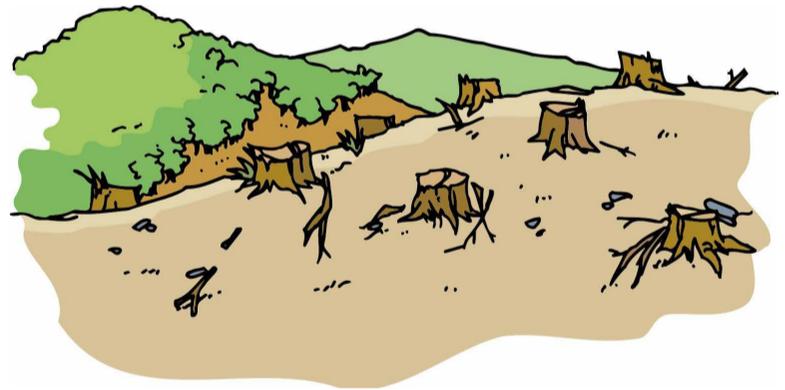
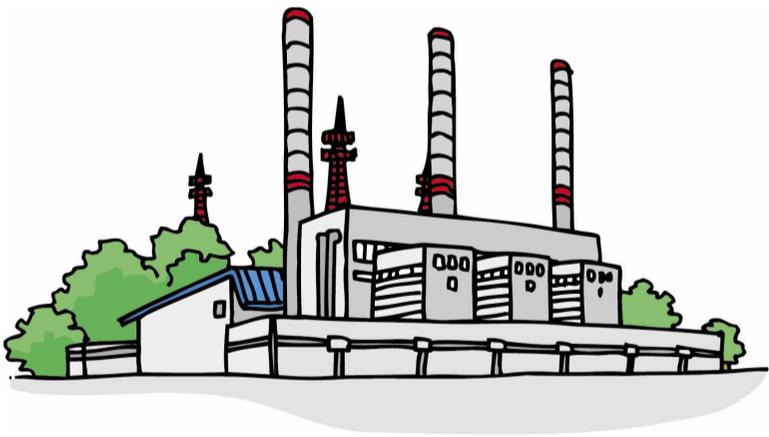


Q5 1860年とくらべると、今（2014年）の空気の中の二酸化炭素（にさんかたんそ）のりょうは、多いでしょうか、少ないでしょうか？

1. 今の方が、すごくたくさん（80%）多い
2. 今の方が、大気中の二酸化炭素のりょうは少ない
3. 今の方が、少し（25%）多い

A 正しい答え : 3番

今の空気の中の二酸化炭素のりょうは、1860年とくらべると約25%（少し）多くなっています。二酸化炭素は温室効果ガスで、そのほとんどを人間が作り出しています。二酸化炭素を出すげんいんは、ひとつは石油や石炭などをもやすことと、もうひとつは木が切られたり火事でもえてしまったりすることです。二酸化炭素を空気中に出せば出すほど、気温が高くなることがあります。





Q6 森や林がなくなってしまうことで、空気の中にふえる二酸化炭素のりょうは、年間何トンでしょう？

1. ゼロ。木を切りたおしても空気の中の二酸化炭素はふえない。
2. 200～500トン（トラック100台～250台分）
3. 20億～50億トン（トラック10000000000台～25000000000台分）

A 正しい答え： 3番。

森や林は空気中の二酸化炭素をすって、ためてくれます。木を切りたおしたり畑をやいたりすると、その木の中にたくわえられている二酸化炭素が空気の中に出てしまいます。森林を切りたおしたり畑を焼いてしまったりすることで、毎年20億～50億トン（トラック10000000000台～25000000000台分）の二酸化炭素が空気中に出されている、と科学者たちは考えています。



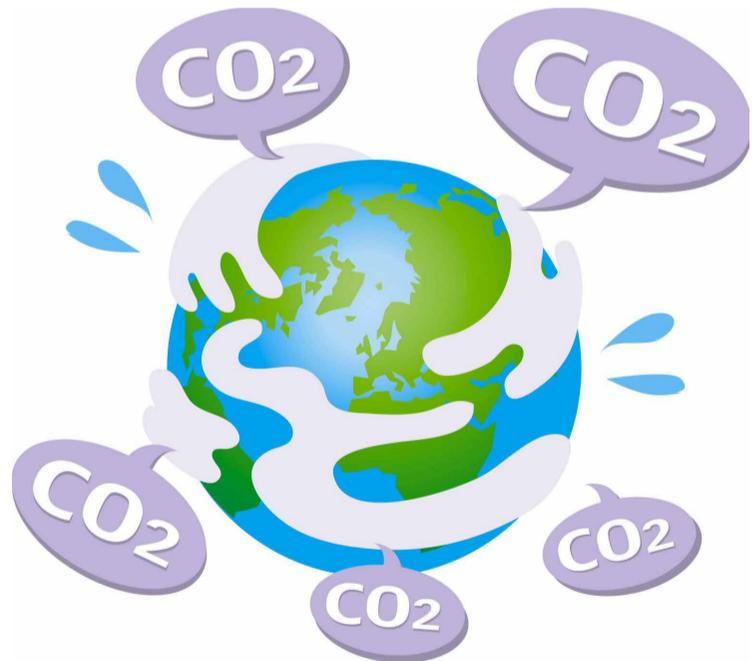
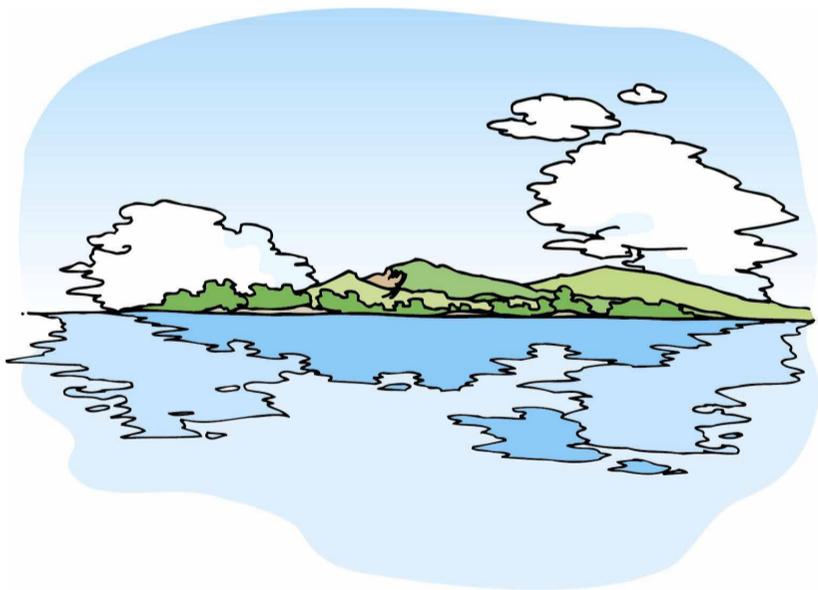


Q7 次のうち、植物が大きく育つのに関係のないものはどれですか？

1. 水
2. 星
3. 二酸化炭素

A 正しい答え : 2番

植物が大きく育つには、二酸化炭素が必要です。また、土の中の水のおかげで、植物は葉まで水をすい上げることができます。葉は、水、空気中の二酸化炭素、太陽の光のエネルギーを使って、植物にとっての栄養（えいよう＝植物のごはん）を作り出します。植物は大きく育つために二酸化炭素を使わないといけません。そのため、石炭や石油をもやすことによつて出る二酸化炭素をすい取ってくれるので、とても役に立つのです。





次の3つは、あなたの生活の中でできるエコの問題です。

Q8 せがたかくなって体に合う服がなくなってきたので、新しい服を買いにお店に来ています。気に入ったシャツを10枚（まい）見つけました。さて、どうしますか？

1. たくさん持っけていても多すぎるということはないので、全部買う
2. いつでも弟や妹にあげられるので、全部買う
3. 本当にいるものだけ買う

A 正しい答え : 3番

たくさん買ったあと、もしそれを使わなかつたり、だれにもあげなかつたりすると、すててしまうことになります。

自分がひつような分だけ買うことで、そのものを作る時のエネルギーをむだにすることなく、また、すてるものをへらすことになります。

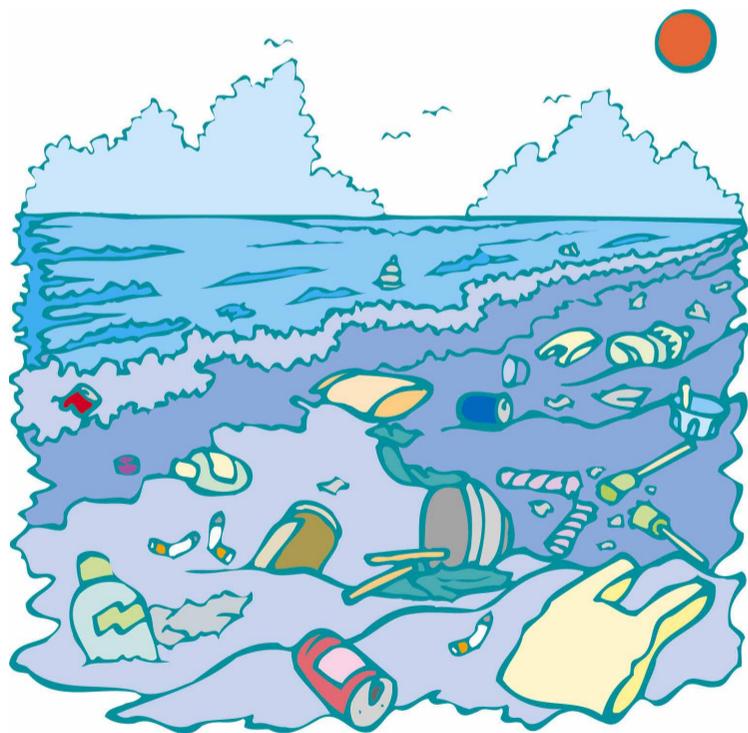




Q9 レジで買った服のお金を払います。あなたが買ったものを店の人がレジぶくろ（お店でくれるビニールやプラスチックのぶくろ）に入れようとしてくれていています。どうしますか？

1. ぶくろはもらっておく
2. 「ぶくろはいりません」と言って、買った服は自分が持ってきたエコバッグに入れる
3. たくさん買ったので、ぶくろを2つにしてくださいと言う

A 正しい答え : 2番
エコバッグに入れるのが正しい答えです。レジぶくろは、できるだけもらわないようにしましょう。ビニールのぶくろは、土にうめても長い時間なくならず、動物が、ぶくろを食べ物とまちがえて飲みこんでびょうきになってしまったり、ぶくろが体にからまってケガをしてしまったりすることがあります。





Q10 小さくて着られなくなった服をリサイクル（もう一度使えるように）するには、どうすればいいですか？

1. ゴミ箱にすてる
2. 人にあげるか、ほしい人に売る
3. 戸だなにしまっておく

A 正しい答え : 2番

リサイクルは、物にもう1つの命をあたえるということです。そうすることでゴミをへらすことができるし、ほかの「使いたい」という人にあげるか売るかすれば、その人が新しい服を買わずにすむかもしれません。





答えを数えてみましたか？

何問正しくできたかな？

0～4問		ジュニアエコイクマイスター目指して、もう一度！ 答えを見直してみましょう。
5～7問		ジュニアエコイクマイスターにあと一歩です！ エコを身近に感じてきましたか？
8～9問		ジュニアエコイクマイスターのなかま入りです。 おめでとう！
全部		すばらしい！！ あなたはりっぱな、ジュニアエコイクマイスター です。ほかの人にも教えてあげましょう。

地球を大切にするためには、まず、地球について考えること、知ること
です。そして、かんたんなことから良いので、エコなことを見つけて、
実行することが大切です。

検定（けんてい）にも身近なエコにも、どんどん挑戦（ちょうせん）し
てみてくださいね！

「エコなことをもっと知りたい」、「エコなイベントに出てみたい」
時には、ぜひ、みんなのエコイクのジュニアエコイクマイスターの
ページをチェックしてみてくださいね。



<http://ecoiku.org/junior/>





ちょっとエコ。親子でチャレンジしてみましよう！

1. もらったレジぶくろ、そのまますてないで、もう一度使いましよう。

もらわないようにエコバッグを持って歩くのはもちろんですが、もしも、もらった場合にも、もう一度使えるようにくふうましよう。

軽くて小さくたためてしょうぶなレジぶくろは、かばんに入れておくと、いろいろな場面で役に立ちます。

- 次に買い物をした時に、エコバッグの代わりに使います
- 犬のさんぽの時に、持って行きます
- ドライブの時のゴミを入れたり、気持ちが悪くなった時にも。
- ケガをしたときの三角きん代わりにもちまいます





2. チラシでゴミ箱を作ってみましょう

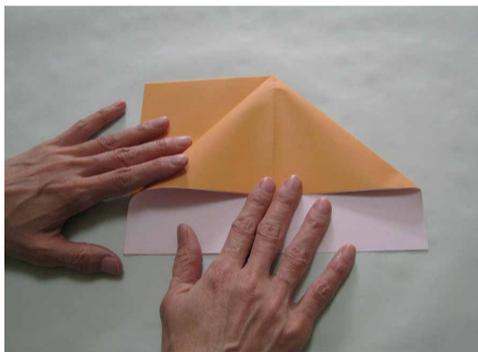
生ゴミは水にぬれると重くなるので、ゴミを運ぶ時にももやす時にも、たくさんのエネルギーがひつようになります。

そこで、新聞といっしょに配られているチラシをおるだけで、かんたんにできるゴミ箱を作ってみましょう。ゴミの水分をしつかりすつてくれますので、たくさん作っておくとべんりですよ。

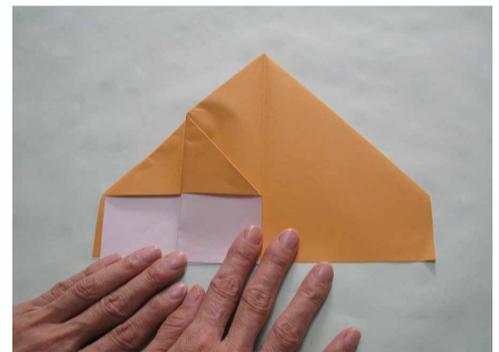
チラシゴミ箱の作り方



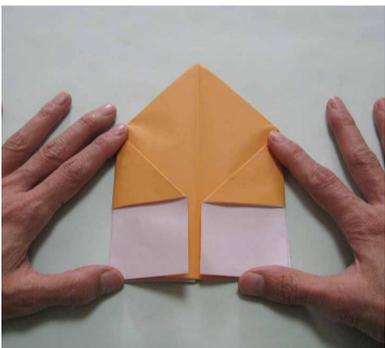
1. 四つにおります



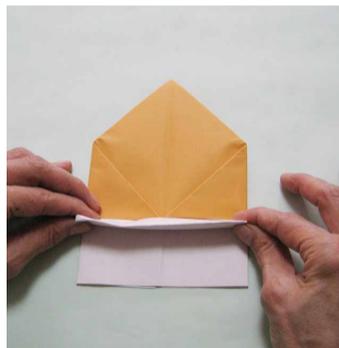
2. 三角形になるように開きます



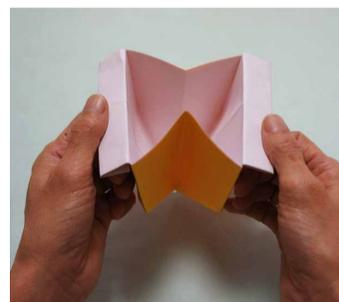
3. 三角形がうちがわになるようにおつたら、りょうほうのはじを真ん中の線に向かつております



4. 表もうらもおると、こんな形になりました



5. 下の部分を上に



6. 開いたら



7. できあがり

台所やテーブル、つくえの上などで、だいかつやく。
みかんやエダマメの皮、ピーナッツのからも入れられます。





あとがき

みんなのエコイクとは

体育・知育・徳育…それに近年加わったのが「食育」ですが、さらに未来に進むために、地球との共存を大人も子供も考える「エコ育」を推進する活動です。

みんなのエコイクの方針

街全体をエコを意識・実践できる場に育てたい。

子どもたちに、簡単で楽しくて広がるエコ意識を育てたい。

そして、日本を「自然と共存する国」「エコな日本を体験したい」と世界の人に思ってもらえるような国に育てたい。

それを伝えられる自分を育てたい。

「みんなのエコイク」は、広く一般市民に対し、地球温暖化を防ぎ、より良い地球環境を保全するために、体系だったエコ教育プログラムを創造し、それに参加してもらうことで、楽しく学ぶことができる仕組み作りを構築したいと思っています。また、市民だけでなく、地球環境に配慮した製品を作ったりサービスをしたりする個人、団体、企業、行政との懸け橋になれるように、ネットワークを広げ、地球を含めた「命」を大切に作る世の中づくりに寄与する所存です。

みんなのエコイク3つの柱

1. 自分の地域のエコロジーなサービスや商品を目に見える形にする【エコイク（エコ育・エコ行く）マップ】
エコロジーな商品を積極的に並べている店やエコロジーなサービスをする店（団体、行政の取り組み）を見つけて、アピールをする手伝いをします。
2. エコイクマップ作成に直接携わり、子どもにエコ育を行うことができる人を育てる、【エコイクマイスター制度】
3. 幼児・小学・中学・高校生に対し、ロールプレイングや実践授業を通じてエコロジーを教える「エコ育」を行う、【ジュニアエコイクマイスター講座（わが町探検隊）】





「ジュニアエコイクマイスター検定」 事業の経緯および概要

本事業は、前述「みんなのエコイク」の3本柱のうち、

3. 幼児・小学・中学・高校生に対し、ロールプレイングや実践授業を通じてエコロジーを教える「エコ育」を行う、【ジュニアエコイクマイスター講座（わが町エコ探検隊）】

より、講座のセルフトレーニングができるものとしての「こども向けエコ検定」の制定を目標に活動しているものです。

「過去や現在起こっている環境問題について幅広く学べ、その問題の対策方法についても考えることができる」ということを掲げているeco検定（環境社会検定試験）など、「大人向けのエコ検定」は、企業の中にも定着してきましたが、小学生以下のこども向けのものは、まだまだ広まっていません。

また、こどもを取り巻くインターネット事情はどんどん進んでいるのに、親はそれについていけません。

地球の環境と共に、こどもを取り巻く環境をも変えられるものはないだろうか、というのが、私たちがこの事業に取り組んだ最初のきっかけでした。

そこでその課題に取り組むために、まず海外ではどのような仕組みでこどもを環境教育に導いているかのリサーチをすること、次に、それを日本に合う形で導入して、幅広くこどもたちに活用してもらうと同時に、実践的なエコ講座を開催することを目標に掲げました。

こどもを育てるといのは大変長い年月がかかるもので、この「エコ育」の事業もいろいろな角度からアプローチしながら、長い時間をかけて伝えるものだと思っています。

「検定」というものが、「ちょっとやってみよう」と環境を考えるきっかけ作りの役に立つことができれば幸いです。

特定非営利活動法人みんなのエコイク推進協会

理事長 安井レイコ





《保護者のみなさまに向けて》

世界の国では、さまざまな環境教育がなされています。

その中から、今回私たちの団体「みんなのエコイク」がご紹介したいと思ったのは、カナダにある「アースデイ・カナダ」という団体が行っているプログラムです。

環境教育では、ドイツやスウェーデンで先進を切っていると言われますが、実はカナダも、国土の多くが自然保護地域であったり、ESDが学校の先生たちへのプログラムとして取り入れられていたり、早いうちから取り組みが始まっています。また、英語のプログラムであるという親しみやすさもあって、カナダで環境教育を行っている団体にコンタクトを取りました。

さらに私たちが「アースデイ・カナダ」のプログラムに注目した理由は、

1. 幼稚園から小・中学校・大学卒業まで、それぞれのプログラムがあり、プログラムを経験しながら自分たちが下の学年の子どもたちを導けるようになっていること
2. 移民の多いカナダでは、他国言語を話す子どもたちへの英語教育の分野が発達しており、このプログラムが日本人に対しても、やさしく分かりやすい英語の環境教育に役立つこと
3. このプログラムが、インターネットを使ってセルフトレーニングができる構成になっており、「みんなのエコイク」のインターネットとイベントを通じたやり方に非常に似ていたこと

以上の3つの理由から、彼らのプログラムの一部である、「エコメンター」「エコキッズ」の紹介をさせていただこうと思いました。



▲▶ エコメンタープログラム体験





「エコメンター」は、14歳から24歳までの青少年が自発的に環境について考え、他の人に指導できるようになるまでを教えるプログラムです。

本年（2013年）12月、当団体の理事長が、この「エコメンター」の最初のプログラムを1日体験してきましたので、ぜひ、ウェブサイトの報告をお読みください。

理事長のブログ

http://ecoiku.org/blog_my_top/blog_id=2

また「エコキッズ」は、それ以下の子どもたちが、ゲームやドリルなどを通じて、環境に親しみを覚えるプログラムです。

私たち「みんなのエコイク」では、彼らとの友好関係を通じ、互いの国の理解を深め、これらの良いプログラムを日本の子どもたちにも分かりやすいような形にして、ご紹介したいと思っています。

どうぞご期待くださいませ。

ファウンデーション（寄付による基金）という考え方が根付いているカナダでは、このプログラム（団体）もファウンデーションによって活動が支えられています。そのため、偏ることなく、子どもたちのために活動を行うことができるのです。

もし、私たちの活動に興味をお持ちになったり、連絡を取りたいと思ったり、寄付をしたいと思ったら、ぜひ[こちら](mailto:info@ecoiku.org)（info@ecoiku.org）までご連絡ください。

そして、まずは小さいお子さまと一緒に楽しめる、アースデイカナダの「エコキッズ」プログラムを参考にした、「ジュニアエコイクマイスター検定」からご紹介しました。

ぜひお楽しみください。

また、追加の情報やさまざまなエコイクの取り組みについて、公式サイトにてご紹介しております。

お子様と一緒に、ご覧ください。

活動へのご参加、お待ちしております！

詳細な情報は、公式サイトまで



<http://ecoiku.org/>





「みんなのエコイク」への具体的な応援方法

みんなのエコイクの子どもたちへのエコ育活動は、みなさまの寄付によって支えられています。

寄付金 ひと口3,000円より

※ご寄付の際には、必ずお名前とご連絡先をメールまたは振替用紙のメッセージ欄にてお知らせください。

振込先 ゆうちょ銀行 〇〇八（せせのみち）支店 普通 3576627

トクヒ) ミンナノエコイクスイシンキョウカイ

著者：特定非営利活動法人みんなのエコイク推進協会

出版コーディネイト：株式会社Dream Creation

デザイン・DTP： N&Iシステムコンサルティング株式会社 中嶋かをり

企画・編集・発行：特定非営利活動法人みんなのエコイク推進協会

協力：橋爪英明

本書の無断転載・複写・複製を禁じます。

*本書は、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンドによる2012年度のドコモ市民活動団体への助成事業（環境分野）の助成を受けて作成しました

